

# 『新技術について』

## 1. 千葉県の新技術活用に向けて

民間等で開発された新技術(工法・材料・機械等)の活用について、安全安心の確保・コスト縮減・環境負荷の低減等、並びに品質の向上を図る上からも必要と考えており、国の「公共工事等における新技術活用システム」も参考に、新技術の積極的な活用を図っていくこととしています。

## 2. 民間技術の活用普及

民間で開発された新技術については、技術管理課が窓口となり、安全性・経済性・施工性・強度・耐久性等の機能や性能等の室内試験データ、使用実績等を確認した後に、県庁内ホームページへの掲載、開発企業による新技術発表会や県による講習会等を通じて県、市町村、設計コンサルタント等に対して情報提供し、公共工事への活用・普及を図っているところです。

なお、公共事業でのコスト縮減、品質の確保、環境保全等、様々な課題に対応していく上で、民間事業者等が開発した有効な技術を積極的に活用することは極めて有効であり、国においては「新技術情報提供システム(NETIS：ネティス)」が運用されています。

## 3. 千葉県における新技術の取り組み状況

効率的な公共事業の執行を図るため「コスト縮減」の推進や環境への負荷を少なくする「資源循環型社会」の構築が求められており、県ではリサイクル材の活用等に関する新技術の導入を進めております。

### ①エコセメント(JIS R5214)

エコセメントとは、エコロジーとセメントの合成語で都市ごみ焼却灰や下水汚泥を主原料として製造された資源リサイクル型セメントです。

普通ポルトランドセメントとほぼ同等の品質を有することから、県では平成14年度から千葉県型コンクリート二次製品で原則使用しています。

### ②溶融スラグ(JIS A5032)

溶融スラグとは、市町村等の一般廃棄物の焼却灰を高温で溶融し、細粒化したものです。

県ではアスファルト舗装用合材の細骨材に混合し、平成17年度から県発注の単独事業に溶融スラグ入りアスファルトの義務付け利用を推進、平成18年7月「道路用溶融スラグ」のJIS化に伴い適用基準を改訂し、国庫補助事業にも同合材の使用を義務付けています。

# 千葉県の 新技術活用に向けての 取り組みについて

技術管理課技術情報班

## 新技術活用の取り組み

- ①新技術とは？
- ②新技術の受付
- ③新技術の周知

### ①新技術とは？

- ・ 従来使われていない工法、又は、県の歩掛り・単価の設定されていない新たな工法・材料・機械等をいう。

### ②新技術の受付

- ・ 技術管理課で企業の提案を聴取して受理する。



### ③新技術の周知

- ◆ 県職員に対しては、県庁内ホームページに掲載（新技術情報）
- ◆ 市町村職員に対しては、(公財)千葉県建設技術センター（CCTCnet）から提供
- ◆ 新技術発表会（年2回）において、ホームページに掲載された中から新工法、材料等を県市等の職員に対する情報提供

## 県庁内ホームページによる周知

NO	工種	提案 月日	名称	特 徴	提案者・連絡先	種 別										
						技術革新 顕著な 提案実績	新技術 発表会 参加	新技術 発表会 参加 (歩掛り)	建設技術 発表会 参加	グリーン 購入 対象品	建設 現場 利用	県内 実証	県産品	県内 企業		
材料	24.01	ア シ	セグ ド	縦 列	本 県	1	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—
材料	24.01	建 工	ト ー	階 下 ア ン カ ン ト	本 県	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
材料	24.01	機 械	ト ー	延 伸 可 能 な 機 械	本 県	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
特殊 舗装	24.01	特 殊		舗 装 材 質 の 改 善	本 県	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—
材料 設備	24.01	ス キ ン		バ ッ ク ル の 取 付 	本 県	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○
工法 設備 施工	24.01	コ ン クリ		自 動 化 の 施 工	本 県	—	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○
舗装	24.01	ア ス ファ ルト		新 た な 舗 装 材 質	本 県	—	○	—	—	—	—	○	—	—	—	—
舗装	24.01	ア ス ファ ルト		新 た な 舗 装 材 質	本 県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
舗装	24.01	ア ス ファ ルト		新 た な 舗 装 材 質	本 県	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
材料	24.01	機 械		新 た な 機 械	本 県	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—

千葉県への新技術の提案  
NO. 作成日 H24.4.24

新技術概要		情報収集年月日	
技術の名称	フ	NETIS 番号	—
副題		登録(申請)年月日	—
技術活用検討委員会	済 未	(1) コストの削減	1 工法
		2 安全性向上	2 材料
出先機関部会	済 未	(3) 品質の向上	3 機械
		(4) 工期の短縮	4 情報
開発者	開催年月日	5 環境	5 その他
氏名			
住所		TEL	03
担当部署			
住所			
TEL			
URL			
E-mail			
概要	『の型枠に コ 大 小 セ 特徴 グ 施工方法 ※「特徴」欄のD種とは逆布型ライニング工法の品質規格を表します。		

## 建設技術センター (情報共有サイト) CCTCnet

2013年8月23日(金) 技術管理課 ログアウト

CCTCnet

MyWeb 検索 検索オプション 管理権限変更 ヘルプ

トップページ インフォメーション  
スケジュール > 今日の花は 花言葉は 夫帰愛  
情報文書BOX 技術管理課さんへのメッセージ  
CCTCmail 記事が2件あります。(過去30日) > 情報文書BOX  
技術の窓 記事が0件あります。(過去30日) > 情報交流広場 (相談窓口)

技術情報リンク  
情報交流広場 (相談窓口)  
利用状況表  
個人設定

週間スケジュール << 前週 今日 次週 >>  
2013年8月 23日(金) 24日(土) 25日(日) 26日(月) 27日(火) 28日(水) 29日(木)

管理者

情報文書BOX-ピッ  
クス  
日付 分類 添付表題 投稿者  
8月20日 自 【平成25年度 土木材料の品質管理研修】開催 建設技術センター(技術指導班)のお知らせ NEW!!

### 新技術・新工法発表会

建設技術センターと共同で、新たに提案のあった新技術・新工法について、各社等からその特徴等を説明する発表会を開催



千葉県 県土整備部技術管理課技術情報班  
260-8667 千葉市中央区市場町 1-1  
電話 : 043(223)3273 FAX : 043(227)1075  
Email : gijutu39@mz.pref.chiba.lg.jp